

❧ 新年度のご挨拶 ❧



理事長 中澤 護朗

平成29年度を迎え一言ご挨拶申し上げます。

去る、平成29年1月25日に第170回理事会、2月10日に第142回通常組合会を開催し、平成29年度予算を含む重要議案をご承認可決いただきました。理事そして組合会議員の皆様におかれましては、議案に対する質問のみだけではなく国保組合の将来、国の社会保障制度に関する質問もいただき、貴重なご意見、ご協力、大変感謝申し上げます。

本年度はご案内のとおり、保険料を値上げさせていただき、組合員の皆様にもご負担をいただくこととなります。それに対し、保険給付費については対前年度6%の伸びで約2億円を増額計上しており、当組合のみではなく国全体の医療費の伸びが止まらない状況です。その原因として考えられるのは、高度な先進医療の確立、高価な薬剤の使用、高齢化に伴う総体的な医療費増等があげられます。

今の日本は65歳以上の方が全体の27%（4人に1人が高齢者）という超高齢化社会を迎えています。さらに20年後は3人に1人が高齢者という時代が来ます。支える年代の方々が減るため、社会的にも生涯現役という時代も遠くないと考えます。誰もが健康で年齢を重ねていけたら良いと希望をしますが、健康は日々の積み重ねにより得ることが可能です。健康なときには、ご自身の身体のことを意識していませんが、いざ、健康診断で指摘され病気が発見されると今までの生活に対し、後悔をしてしまう。そのようなにならないためのお手伝いを組合が出来ればと考えます。

今後の事業運営にあたり、沢山のご意見を頂戴いたしました。支出の削減を図らなくてはいけないことは当然ですが、そのことにより提供するサービスが低下してはいけないと考えます。他の健康保険には無い独自のサービスを提供することにより、組合員の方々から「国保組合に加入をしていて良かった。」と言われるよう今後も目指していきます。それには皆様からご意見をいただき、組合が目指していく方向をご一緒に考えていただければと存じます。これからも一層のご指導、ご鞭撻をお願いし新年度のご挨拶とさせていただきます。